

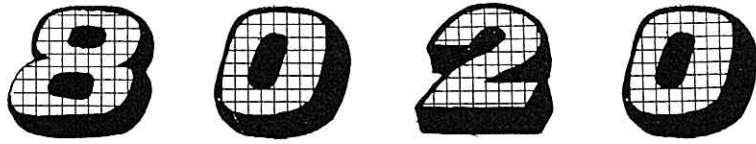
もりもり

第61号

医療法人

2011.1.1発行 益島歯科医院

<http://www.olo.upp.so-net.ne.jp/morishima/>



達成度

DH. 志場 純奈

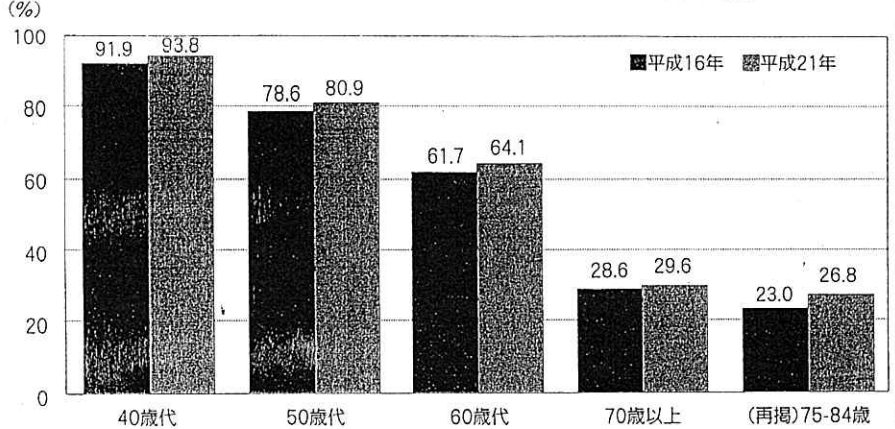
8020運動とは「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」と言う運動です。

親知らずを除く28本の歯のうち、少なくとも20本以上自分の歯があれば、ほとんどの食べ物を噛み砕くことができおいしく食べられます。

“高齢になっても20本以上自分の歯を保ちましょう”というのが、その主旨です。

平成21年に公表された調査結果で自分の歯を20本以上有する75～84歳は、26.8%（4人に1人）と、前回調査の平成16年より3.8ポイント増加しました。また進行した歯周炎があるのは、60歳代が最も多く、以下50歳代、70歳以上、40歳代の順で全ての年代で減少しており、過去

自分の歯を20歯以上有する者の割合（40歳以上）（平成16年と21年との比較）



1年間に歯科検診を受けた・歯石除去、歯面清掃を受けた割合は全年代で増加しています。

75歳以上で20本以上自分の歯を有している場合、83%が「何でも噛んで食べることができる」と回答したが、19本以下の場合は46%であり、20本以上有する方が満足な食生活を送ることができていることが示唆されました。

歯磨きなどの毎日の手入れと併せて、定期的に歯科医院で検診を受け、歯を失う原因となるおし歯や歯周病を早期に発見し、治療を受けるよう心がけましょう。

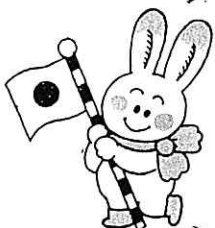
骨そしょう症のお薬を服用している患者さんへ

～院長～

この治療薬の中に副作用として、あごの骨の壊死（組織が死ぬこと）や骨髄炎が起きることがあります。

歯科治療を行った際にもあらわれることがあるため、必ず担当の歯科医師に、このお薬を服用していることを告げて下さい。内科の担当医と相談し、お薬を休薬するか、代えてもらってから歯科治療を進めます。

ふれあいの中で... DH. 小田 世貴子



いよいよ新しい年の幕明けです。今年はずさぎ年！跳躍カ抜群のウサギにあやかり、飛躍の年にしたいですね。今年も皆様のお口の健康維持のお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

編集後記

インフルエンザなど、ウイルスの感染予防に、外出後は手洗いとうがいをお忘れずに。 DH. 太田祥子

